

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re Patent Application of:)
)
Hiroshi HATAKAMA, et al.)
) Group Art Unit: Unassigned
Serial No.: NEW)
) Examiner: Unassigned
Filed: March 21, 2001)
)
For: PRODUCT INFORMATION)
SUPPLYING METHOD, PRODUCT)
INFORMATION ACQUIRING)
METHOD, PRODUCT)
INFORMATION REGISTERING)
METHOD AND RECORDING)
MEDIUM)



**SUBMISSION OF CERTIFIED COPY OF PRIOR FOREIGN
APPLICATION IN ACCORDANCE
WITH THE REQUIREMENTS OF 37 C.F.R. §1.55**

*Honorable Commissioner of Patents and Trademarks
Washington, D.C. 20231*

Sir:

In accordance with the provisions of 37 C.F.R. §1.55, the applicant(s) submit(s)
herewith a certified copy of the following foreign application:

Japanese Patent Application No. 2000-358939, filed: November 27, 2000

It is respectfully requested that the applicants be given the benefit of the foreign filing
date as evidenced by the certified papers attached hereto, in accordance with the requirements
of 35 U.S.C. §119.

Respectfully submitted,
STAAS & HALSEY LLP

Date: March 21, 2001

By: _____

James D. Halsey, Jr.
Registration No. 22,729

700 11th Street, N.W., Ste. 500
Washington, D.C. 20001
(202) 434-1500

日 本 国 特 許 庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

J1002 U.S. PTO
09/817289
03/27/01

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日
Date of Application: 2000年11月27日

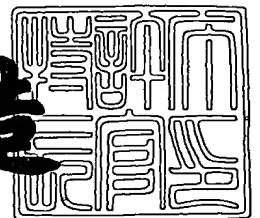
出 願 番 号
Application Number: 特願2000-358939

出 願 人
Applicant(s): 富士通株式会社

2001年 1月19日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2000-3112243

【書類名】 特許願

【整理番号】 0051476

【提出日】 平成12年11月27日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 13/00

【発明の名称】 商品情報提供方法、商品情報取得方法、商品情報登録方法および記録媒体

【請求項の数】 10

【発明者】

 【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通株式会社内

 【氏名】 幡鎌 博

【発明者】

 【住所又は居所】 静岡県静岡市南町18番1号 株式会社富士通静岡エンジニアリング内

 【氏名】 小池 広治

【特許出願人】

 【識別番号】 000005223

 【氏名又は名称】 富士通株式会社

【代理人】

 【識別番号】 100092152

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 服部 毅巖

 【電話番号】 0426-45-6644

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 009874

 【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

 【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9705176

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 商品情報提供方法、商品情報取得方法、商品情報登録方法および記録媒体

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 利用者端末よりネットワークを通じて商品を購入する利用者に対して、前記商品に組み合わせて購入し得る関連商品についての情報を提供する商品情報提供方法において、

以前に前記商品を購入した情報登録者より、前記商品とこれに対応する前記関連商品との組み合わせに関する組み合わせ情報の提供を受けて、データベースに登録して蓄積し、

前記利用者からの前記組み合わせ情報に対する問い合わせ情報に基づいて前記データベースを検索し、該当する前記組み合わせ情報を抽出して前記利用者に提供する、

ことを特徴とする商品情報提供方法。

【請求項 2】 前記問い合わせ情報は、購入候補とするため、または購入申し込みを行うために、前記利用者が前記商品を選択したことを示す選択信号として受信することを特徴とする請求項 1 記載の商品情報提供方法。

【請求項 3】 前記問い合わせ情報は、前記利用者による入力によって前記利用者端末から送信されることを特徴とする請求項 1 記載の商品情報提供方法。

【請求項 4】 前記問い合わせ情報は、前記利用者端末より、前記商品を販売するオンラインショップを提供する Web サーバを介して送信されることを特徴とする請求項 1 記載の商品情報提供方法。

【請求項 5】 抽出された前記組み合わせ情報が前記利用者端末に送信された後、参照した前記組み合わせ情報に基づいて前記利用者によって前記関連商品の購入申し込みが行われた回数を蓄積することを特徴とする請求項 1 記載の商品情報提供方法。

【請求項 6】 抽出された前記組み合わせ情報は、前記関連商品の紹介用 Web ページへのリンク情報を含み、前記組み合わせ情報が前記利用者端末に送信された後、参照した前記組み合わせ情報に基づいて前記利用者によって前記紹介

用 W e b ページへリンクされ、閲覧された回数を蓄積することを特徴とする請求項 1 記載の商品情報提供方法。

【請求項 7】 参照した前記組み合わせ情報に基づく前記利用者による前記関連商品の購入申し込みまたは前記紹介用 W e b ページの閲覧の回数に応じて、前記組み合わせ情報の提供元である前記情報登録者に対して報酬が与えられることを特徴とする請求項 5 または 6 記載の商品情報提供方法。

【請求項 8】 利用者が利用者端末よりネットワークを通じて商品を購入する際に、前記商品に組み合わせて購入し得る関連商品についての情報を取得するための商品情報取得方法において、

前記商品とこれに対応する前記関連商品との組み合わせに関する組み合わせ情報の送信に対する問い合わせ情報を、以前に前記商品を購入した情報登録者によって登録された前記組み合わせ情報をデータベースとして蓄積するサーバに対して送信し、

前記問い合わせ情報に基づく前記データベースの検索によって抽出された前記組み合わせ情報を前記サーバより受信して出力する、

ことを特徴とする商品情報取得方法。

【請求項 9】 利用者がネットワークを通じて商品を購入する際に提供するための、前記商品に組み合わせて購入し得る関連商品についての情報を登録するための商品情報登録方法において、

情報登録者端末において、前記商品とこれに対応する前記関連商品との組み合わせに関する組み合わせ情報として、電子メールを用いて、あるいは前記組み合わせ情報の登録用 W e b ページにアクセスして、所定の事項を入力し、前記組み合わせ情報をデータベースとして蓄積するサーバに対して送信することを特徴とする商品情報登録方法。

【請求項 1 0】 利用者端末よりネットワークを通じて商品を購入する利用者に対して、前記商品に組み合わせて購入し得る関連商品についての情報を提供する商品情報提供プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体において、

前記商品とこれに対応する前記関連商品との組み合わせに関する組み合わせ情

報を蓄積するデータベース、

以前に前記商品を購入した情報登録者より提供された前記組み合わせ情報を前記データベースに登録する情報登録手段、

前記利用者からの前記組み合わせ情報に対する問い合わせ情報に基づいて前記データベースを検索し、該当する前記組み合わせ情報を抽出して前記利用者端末に送信する情報出力手段、

前記情報登録者によって登録された前記組み合わせ情報を、前記利用者が参照し、これに基づいて前記関連商品を購入したことが確認された場合、あるいは前記組み合わせ情報に記載された前記関連商品の紹介用 Web ページへ前記利用者がリンクして閲覧したことが確認された場合に、前記関連商品の購入または前記紹介用 Web ページの閲覧に応じて前記情報登録者に対して与えられる報酬を示す値を蓄積する報酬蓄積手段、

としてコンピュータを機能させることを特徴とする商品情報提供プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、ネットワークを通じて商品を購入する利用者に対して、購入時に前記商品に組み合わせ得る関連商品についての情報を提供する商品情報提供方法、このような関連商品についての情報を、利用者が取得するための商品情報取得方法、および情報登録者が登録するための商品情報登録方法に関する。

【0002】

【従来の技術】

近年、インターネットを通じて商品を購入することができるオンラインショップや、これらが複数集められたオンラインモール等と呼ばれる Web サイトが増加している。このような Web サイトでは、利用者は商品を紹介する Web ページを閲覧して購入する商品を選択し、代金の決済方法を指定して住所などの個人情報を送信することによって購入を申し込む。決済方法としては一般的に、銀行振り込みやクレジットカード、あるいは、いわゆる電子マネー等が利用されてい

る。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

ところで、このようなオンラインでの商品販売サービスの利用者は、Web ページ上の掲載商品から所望の商品を選択してショッピングカートに一時的に入れてから、すなわち購入を希望する商品を一時的に選択してから、最終的に購入申し込みを行うまでの間に、選択した商品の65%を取り消してしまうと言われている。このことは、利用者が購買行動中に商品の選択に迷っていることを示しており、利用者による購買行動を補助するための何らかの手段が望まれている。また、このような手段の実現は、商品販売サービスを提供する事業者にとっても、商品の売り上げを高める上で重要である。

【0004】

このために、従来のWeb ページでは、例えば、ある商品を購入しようとしている利用者に対して、各商品に関するコメントを提示するといった方法がとられていたが、利用者にとって価値の高いコメントを提示することは難しかった。また、電子掲示板を利用して、商品に関する様々な情報を書き込むことができるWeb サイトが多数存在しているが、これらのWeb サイトとオンラインショップのWeb サイトを関連付けて、利用者には的確な情報を提供する機能は設けられておらず、商品の購入時に有効な情報を提供することはできなかった。

【0005】

一方、利用者が購入しようとしているある商品に対して、これと組み合わせて購入し得る別の商品を提案することで、利用者にとって必要な商品の購入を誘導するクロスセル (Cross Sell) といわれる方法が考えられる。商品の組み合わせの例としては、パーソナルコンピュータの購入の際にプリンタ等の周辺機器を、あるいは、ノート型パソコンにはキャリーバッグを、コンピュータのソフトウェアにはその解説本を勧めること等が考えられる。このように、元の商品に組み合わせる別の商品についての情報を得るために、例えば、オンラインショップにおいて、以前に他の利用者によってその商品と同時に購入された商品を提示する方法が存在している。また他に、POS データ等を用いてデータマイニングを行い

、分析する方法が考えられるが、いずれも、組み合わせ得る商品が抽出されるのみで、その商品の組み合わせによる効果や使い方、注意事項等の詳細な情報を得ることはできず、利用者の購買行動を補助する効果は大きくなかった。

【0006】

本発明はこのような課題に鑑みてなされたものであり、商品を購入する利用者に対して、組み合わせて購入し得る関連商品についての情報を的確に提示して、利用者の購買行動を補助するための商品情報提供方法、利用者がこのような情報を取得するための商品情報取得方法および登録するための商品情報登録方法を提供することを目的とする。

【0007】

また、本発明の他の目的は、商品を購入する利用者に対して、組み合わせて購入し得る関連商品についての情報を的確に提示して、利用者の購買行動を補助するための商品情報提供装置を提供することである。

【0008】

【課題を解決するための手段】

本発明では上記課題を解決するために、利用者端末よりネットワークを通じて商品を購入する利用者に対して、前記商品に組み合わせて購入し得る関連商品についての情報を提供する商品情報提供方法において、以前に前記商品を購入した情報登録者より、前記商品とこれに対応する前記関連商品との組み合わせに関する組み合わせ情報の提供を受けて、データベースに登録して蓄積し、前記利用者からの前記組み合わせ情報に対する問い合わせ情報に基づいて前記データベースを検索し、該当する前記組み合わせ情報を抽出して前記利用者に提供する、ことを特徴とする商品情報提供方法が提供される。

【0009】

このような商品情報提供方法では、利用者に提供される組み合わせ情報が、以前にこの商品を購入した情報登録者によって登録されて、データベースに蓄積される。この情報登録は、電子メールや登録用Webページを用い、ネットワークを通じて行われ、登録された情報には、組み合わせる商品を特定する情報だけでなく、効果や使用方法等の組み合わせに関する情報が記述される。一方、蓄積さ

れた組み合わせ情報は、商品を購入する利用者からの問い合わせ情報に基づいて検索されて、対応する商品の組み合わせ情報が抽出され、利用者端末に送信される。これによって、組み合わせで購入し得る関連商品についての的確な情報を利用者に対して提供することができ、さらに、利用者が関連商品も購入する可能性が高くなることで、クロスセルにより商品の売上げが上昇する。また、利用者が提供された組み合わせ情報を参照する、あるいはこれに基づいて関連商品を購入した場合は、このような参照または購入の回数を蓄積し、この回数に応じて組み合わせ情報を登録した情報登録者に報酬を与えることによって、データベースに多数の組み合わせ情報を登録させることができる。

【 0 0 1 0 】

また、本発明では、利用者がネットワークを通じて商品を購入する際に、前記商品に組み合わせで購入し得る関連商品についての情報を取得するための商品情報取得方法において、前記商品とこれに対応する前記関連商品との組み合わせに関する組み合わせ情報の送信に対する問い合わせ情報を、以前に前記商品を購入した情報登録者によって登録された前記組み合わせ情報をデータベースとして蓄積するサーバに対して送信し、前記問い合わせ情報に基づく前記データベースの検索によって抽出された前記組み合わせ情報を前記サーバより受信して出力する、ことを特徴とする商品情報取得方法が提供される。

【 0 0 1 1 】

このような商品情報取得方法では、商品を購入する利用者が、利用者端末を通じて、組み合わせ情報をデータベースとして蓄積するサーバに対して、組み合わせ情報に対する問い合わせ情報を送信すると、この問い合わせ情報に基づいてデータベースが検索され、該当する組み合わせ情報が抽出されて送信される。受信した組み合わせ情報には、組み合わせる商品を特定する情報だけでなく、効果や使用方法等の組み合わせに関する情報が記述され、なおかつ、この情報は以前にこの商品を購入した情報登録者によって登録されたものであるもので、利用者は組み合わせで購入し得る関連商品についての的確な情報を取得することができる。

【 0 0 1 2 】

また、本発明では、利用者がネットワークを通じて商品を購入する際に提供す

るための、前記商品に組み合わせて購入し得る関連商品についての情報を登録するための商品情報登録方法において、情報登録者端末において、前記商品とこれに対応する前記関連商品との組み合わせに関する組み合わせ情報として、電子メールを用いて、あるいは前記組み合わせ情報の登録用 Web ページにアクセスして、所定の事項を入力し、前記組み合わせ情報をデータベースとして蓄積するサーバに対して送信することを特徴とする商品情報登録方法が提供される。

【 0 0 1 3 】

このような商品情報登録方法では、以前に商品を購入した情報登録者は、情報登録者端末より、電子メール、あるいは登録用 Web ページにアクセスすることによって、組み合わせ情報をデータベースに容易に登録することができる。また、情報登録者が送信した組み合わせ情報に基づいて、他の利用者が関連商品を購入した場合、あるいは関連商品の紹介用 Web ページへリンクしてこれを閲覧した場合には、情報登録者がこれらの回数に応じた報酬を受けようようにすることによって、組み合わせ情報のデータベースへの登録件数を増加させることができる。

【 0 0 1 4 】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の実施の形態を図面を参照して説明する。

まず、本発明の商品情報提供方法、商品情報取得方法および商品情報登録方法を具現化する商品情報提供システムを例示して、本発明の概要について説明する。図 1 に、商品情報提供システムにおける処理を概念的に示す。

【 0 0 1 5 】

商品情報提供システム 1 は、オンラインでの商品の販売、および商品情報の提供サービスを行うサービス提供サーバ 2 と、サービスの利用者によって操作される利用者端末 3 と、情報登録者によって操作される情報登録者端末 4 によって構成される。サービス提供サーバ 2 は、利用者に提供する組み合わせ情報を蓄積するデータベース 2 a と、情報登録者に対する報酬を算出するための購入申し込みの回数蓄積部 2 b を具備し、販売する商品を紹介する商品紹介用 Web ページ（以下、商品ページと略称する） 2 c、商品の関連商品を紹介する関連商品紹介用

Web ページ（以下、関連商品ページと略称する）2 d、およびデータベース 2 a への情報の登録用 Web ページ（以下、登録ページと略称する）2 e を提供する。すなわち、サービス提供サーバ 2 は、インターネット等のネットワークを通じて Web ページを提供する Web サーバであり、具体的には、インターネット等のネットワークを通じて商品を販売するオンラインショップ、あるいはオンラインモールを提供する。利用者端末 3 および情報登録者端末 4 は、ともにパーソナルコンピュータ等、Web ページの閲覧が可能な情報処理機器であり、サービス提供サーバ 2 とインターネット等のネットワークを介して接続されている。

【0016】

なお、図 1 では利用者端末 3 および情報登録者端末 4 を 1 つずつ示しているが、実際にはともに多数存在する。また、データベース 2 a は、後述するようにサービス提供サーバ 2 の外部に設置されたサーバ装置に設けられてもよい。さらに、回数蓄積部 2 b の機能は、データベース 2 a によって実現されてもよい。

【0017】

この商品情報提供システム 1 において、サービス提供サーバ 2 は、オンラインショップあるいはオンラインモールの Web サイトとして、販売する商品を紹介し、クリック操作等によって購入申し込みを行うことが可能な Web ページである商品ページ 2 c を、利用者端末 3 に対して複数提供する。また、この商品ページ 2 c を閲覧している利用者に対して、データベース 2 a から抽出した商品の組み合わせ情報を提供する。この組み合わせ情報とは、ある商品に対して、これと組み合わせで購入し得る関連商品がある場合に、この関連商品を特定する情報と、元の商品との組み合わせに関する情報とを含む情報である。組み合わせに関する情報とは、例えば元の商品と組み合わせで購入することによる効果や使用方法、注意点等を示す情報であり、このような組み合わせ情報を利用者に対して提供することによって、利用者が商品購入に関する有益な情報を取得できることとともに、オンラインショップ内あるいはオンラインモール内の関連商品ページ 2 d へ利用者のアクセスが誘導されて、商品の売り上げを増加させる効果が見込まれる。

【0018】

また、この組み合わせ情報のデータベース 2 a への登録は、例えば情報登録のために開設された登録ページ 2 e や電子メール等を用いて、情報登録者端末 4 から行われる。この情報登録者は、基本的に過去に該当する商品を購入したことがある者であり、これによって情報登録者の経験に基づいた組み合わせ情報が、データベース 2 a に蓄積されることになる。また、後述するように、情報登録者の過去の商品購入が、サービス提供サーバ 2 の提供サービスによるものでもよく、この場合はサービスの利用者と情報登録者が同一となり、図 1 に示した利用者端末 3 と情報登録者端末 4 は同一の装置として実現される。

【 0 0 1 9 】

次に、商品情報提供システム 1 における動作を説明する。サービス提供サーバ 2 は、商品に対する過去の購入リストを参照する等によって、過去に商品を購入した人に対して、電子メール等によって組み合わせ情報の登録を呼びかける。情報登録者は、この電子メール等による呼びかけに応じて、情報登録者端末 4 において例えば登録ページ 2 e にアクセスし、組み合わせ情報として所定の事項を入力して、入力情報をサービス提供サーバ 2 に対して送信する。あるいは、この入力情報は電子メールを用いて送信してもよい。入力情報としては、組み合わせる関連商品を特定する情報や組み合わせに関する情報、情報登録者を特定する情報等が含まれ、さらに情報登録者の年齢や職業等のプロフィール情報が含まれてもよい。また、入力する商品は、サービス提供サーバ 2 が提供するオンラインモール内の別のオンラインショップに存在するものでもよい。サービス提供サーバ 2 は、受信した組み合わせ情報をデータベース 2 a に自動的に登録する。このような組み合わせ情報は、複数の情報登録者から登録され、データベース 2 a では、複数の商品に対してそれぞれに複数の組み合わせ情報が登録され、蓄積されることになる。

【 0 0 2 0 】

一方、商品を購入しようとする利用者は、利用者端末 3 より、サービス提供サーバ 2 が開設するオンラインショップあるいはオンラインモールの Web サイトにアクセスし、ある商品を紹介する情報が掲載された商品ページ 2 c を閲覧する。ここで例えば、利用者がこの商品を、購入する候補としてクリック操作等によ

って選択した場合、利用者端末 3 より選択信号が送信される。サービス提供サーバ 2 では、この選択信号の受信とともに、データベース 2 a に対して、この商品に関する組み合わせ情報を自動的に問い合わせる。この問い合わせは、利用者端末 3 からの商品の購入申し込みのための信号の受信によって、あるいは、単なる利用者による組み合わせ情報の送信要求信号の受信によって行われてもよい。

【 0 0 2 1 】

サービス提供サーバ 2 では、問い合わせ情報に基づいてデータベース 2 a が検索され、この商品に対応する関連商品について記述された組み合わせ情報が抽出されて、利用者端末 3 に送信される。この検索は、商品进行特定する情報を検索キーとして行われるが、例えばこれ以外に、利用者のプロフィール等を参照し、これに基づいて行われてもよい。また、抽出されて利用者へ送信される情報には、該当する商品に組み合わせる関連商品名や組み合わせに関する情報、関連商品を紹介する関連商品ページ 2 d へのリンク情報等が含まれ、これらは利用者端末 3 において表示等によって出力される。このような組み合わせ情報は、1 つの商品に対して複数提供されてもよく、例えばデータベース 2 a の登録情報に基づいて、この組み合わせ情報に基づいて過去に商品を購入した利用者が多い情報を優先して提供する、あるいは購入者が多い旨や利用者による評価等を表示するようにしてもよい。

【 0 0 2 2 】

利用者は、提供された組み合わせ情報に興味を持った場合、利用者端末 3 より関連商品ページ 2 d にリンクを行って、関連商品に関する情報を閲覧することができる。関連商品ページ 2 d は、例えばサービス提供サーバ 2 の提供するオンラインショップ内、あるいはオンラインモール内の他のショップ内における商品紹介の Web ページの一つである。この情報の閲覧に基づいて、利用者が関連商品の購入申し込みを行うと、利用者端末 3 より購入申し込みを示す信号が送信され、サービス提供サーバ 2 ではこれを受信して、所定の手続きを行うことで商品の売買契約が成立する。また、回数蓄積部 2 b では、利用者に提供された組み合わせ情報ごとの、あるいは組み合わせ情報の情報登録者ごとの、情報閲覧による関連商品の購入回数を示す値が蓄積されており、利用者端末 3 からの購入申し込み

を示す信号の受信時等、購入が行われたことが確認されるとともに、この購入回数を示す値がカウントアップされる。

【 0 0 2 3 】

情報登録者は、回数蓄積部 2 b に蓄積された値に応じた報酬を、サービス提供者から受け取ることができる。この報酬は、例えば現金の振り込みや商品券等の郵送、あるいは電子マネー、オンラインショップ、モールに対するデジタル割引券等によって受領する。なお、回数蓄積部 2 b における回数の蓄積は、関連商品の購入時でなく、提供された組み合わせ情報に基づいて関連商品ページ 2 d へのリンクが行われた時点で行われてもよい。すなわち、情報登録者に対する報酬は、登録した組み合わせ情報によって、利用者を元の商品と別の商品についての Web ページに導いたこと、および導いたことによって商品の販売につながったことに対して、情報登録者に与えられる。

【 0 0 2 4 】

また、商品の購入を行った利用者に対しては、その後の所定に時期において、組み合わせ情報の登録が呼びかけられる。この呼びかけの方法は、上述した情報登録者端末 4 における情報の登録の場合と同様であり、電子メール等によって行われて、利用者は電子メールを用いて、あるいは登録ページ 2 e にアクセスすることによって組み合わせ情報を登録する。その後、登録した組み合わせ情報が、さらに他の利用者に提供され、商品の販売につながった場合には、登録した利用者に対して報酬が与えられる。

【 0 0 2 5 】

以上のように、商品情報提供システム 1 では、以前にこの商品を購入した情報登録者によって登録された組み合わせ情報が利用者に提供されることにより、組み合わせて購入し得る関連商品についての的確な情報によって利用者の購買行動を補助することができる。また、販売サービスの提供者にとっては、組み合わせ情報の提供によって、利用者を元の商品の他に、関連商品を紹介する関連商品ページ 2 d を閲覧するように導くことができ、オンラインショップあるいはオンラインモール全体の販売が促進されて、結果として商品の売り上げを上昇させることができる。また、利用者が提供された組み合わせ情報を参照する、あるいはこ

れに基づいて関連商品を購入した場合は、このような参照または購入の回数を蓄積し、この回数に応じて組み合わせ情報を登録した情報登録者に報酬を与えることによって、データベースに多数の組み合わせ情報を登録させることができる。このようなサービスの提供によって、他のオンラインでの商品販売サービスと差別化することができ、集客力を高めることが可能となる。

【 0 0 2 6 】

なお、回数蓄積部 2 b に蓄積される、関連商品の購入回数、あるいは関連商品ページ 2 d の閲覧回数の情報は、情報登録者に与えられる報酬を算出する目的に以外に使用されてもよい。例えば、サービス提供サーバ 2 より、元の 1 つの商品に対して複数の組み合わせ情報を利用者端末 3 に提供する場合に、回数蓄積部 2 b の蓄積データに基づき、利用頻度の高い組み合わせ情報を優先して送信することによって、利用者に質の高い情報を提供することが可能となる。また、同様に複数の組み合わせ情報を利用者に提供する場合に、回数蓄積部 2 b の蓄積データに基づいた利用頻度の高さから、各組み合わせ情報に対する関心の高さ等を、例えば段階的に利用者に示すことによって、利用者は提供された情報の正確さを知ることができるようになる。

【 0 0 2 7 】

また、以上の説明では、データベース 2 a はサービス提供サーバ 2 内に設けられていたが、サービス提供サーバ 2 とは別に設置された専用の情報提供サーバに設けられてもよい。この場合、サービス提供サーバ 2 の開設する Web サイトはオンラインでの商品販売サービスのみを行い、外部の情報提供サーバはサービス提供サーバ 2 とネットワークを介して接続されて、このような Web サイトに対してデータベースを用いた商品の組み合わせ情報の提供サービスを行う。すなわち、サービス提供サーバ 2 は、例えば利用者による商品の選択信号を受信すると、情報提供サーバに対して組み合わせ情報に対する問い合わせ情報を送信する。情報提供サーバは、この問い合わせ情報に応じてデータベース 2 a を検索し、抽出した組み合わせ情報を送信する。この組み合わせ情報は、サービス提供サーバ 2 を介して、あるいは利用者端末 3 に直接、送信される。このような構成により、組み合わせ情報を提供するサービス機能を、複数の Web サーバがネットワー

クを通じて共有することが可能となる。

【 0 0 2 8 】

次に、本発明の具体的な実施例について説明する。図 2 に、本発明の 1 実施例である商品情報提供システムの概略構成例を示す。

図 2 に示す商品情報提供システム 1 は、オンラインによる商品販売サービスを提供するサービス提供サーバ 2 と、商品販売サービスを利用する利用者によって操作される利用者端末 3 と、サービス提供サーバ 2 に対して情報の登録を行う情報登録者によって操作される情報登録者端末 4 によって構成される。各機器間は公衆回線等によってなるインターネット 5 によって電氣的に接続されている。

【 0 0 2 9 】

サービス提供サーバ 2 は、プロセッサ等を具備して装置全体の制御を行う CPU (Central Processing Unit) 2 1 と、各種の制御プログラムを格納し、また CPU 2 の補助記憶手段となる ROM (Read Only Memory) / RAM (Random Access Memory) 2 2 と、各種の処理プログラムやデータが記憶されるハードディスクドライブ (以下、HDD と略称する) 2 3 と、インターネット 5 に接続して信号の送受信を行うインタフェース (以下、I / F と略称する) 2 4 によって構成されるコンピュータ装置である。HDD 2 3 には、販売する商品について紹介し、購入申し込みを受け付けるための Web ページのデータや、この Web ページの閲覧時に利用者に提供する組み合わせ情報が格納されたデータベース、および、これらのデータを用いて利用者に対して商品販売サービスを提供するためのサービスプログラム等が格納され、サービス提供サーバ 2 では、HDD 2 3 に格納されたサービスプログラムを CPU 2 1 が読み出して実行することによって、利用者端末 3 に対して、オンラインショップあるいはオンラインモールといった商品販売サービスを行う Web サイトを提供する Web サーバとして機能する。

【 0 0 3 0 】

このサービス提供サーバ 2 は、利用者端末 3 からのアクセスによって、販売する商品を紹介し、クリック操作等によって購入申し込みを行うことが可能な Web ページを、利用者に対して提供する。また、この商品紹介用の Web ページを閲覧している利用者に対して、HDD 2 3 に格納するデータベースから抽出した

商品の組み合わせ情報を提供する。この組み合わせ情報とは、ある商品に対して、これと組み合わせて購入し得る関連商品がある場合における、この関連商品を特定する情報と、元の商品との組み合わせに関する情報とを含む情報であり、商品を購入する利用者の購買行動を補助することを主な目的とするものである。

【 0 0 3 1 】

一方、利用者端末 3 は、CPU 3 1 と、ROM / RAM 3 2 と、HDD 3 3 と、I / F 3 4 と、データを利用者に対して表示するモニタ 3 5 と、利用者によるデータの入力が行われるキーボード、マウスポインタ等である入力装置 3 6 によって構成される、パーソナルコンピュータ等の情報処理機器である。また、情報登録者端末 4 は、同様に CPU 4 1、ROM / RAM 4 2、HDD 4 3、I / F 4 4、モニタ 4 5 および入力装置 4 6 によって構成される情報処理機器である。利用者端末 3 および登録者端末 4 では、HDD 3 3 および 4 3 にはインターネット 5 に接続して Web ページを閲覧するためのブラウザプログラムや、電子メールの送受信を行うメールプログラム等が格納されている。利用者端末 3 では、利用者はサービス提供サーバ 2 にアクセスし、ブラウザプログラムを用いて、提供される商品販売サービスの Web ページを閲覧し、購入申し込みを行うとともに、サービス提供サーバ 2 において検索された、関連商品との組み合わせ情報の提供を受けることができる。また、情報登録者端末 4 では、サービス提供サーバ 2 の具備するデータベースに対する、情報登録者による組み合わせ情報の登録が行われる。

【 0 0 3 2 】

なお、図 2 において、利用者端末 3 および登録者端末 4 は、それぞれ 1 つのみ示しているが、実際には多数存在している。また、情報登録者端末 4 としての機能は利用者端末 3 において実現されることもあり、この場合、両端末装置は同一の機器として実現される。

【 0 0 3 3 】

次に、図 3 に、サービス提供サーバ 2 の HDD 2 3 において格納される組み合わせ情報のデータベース構造例を示す。

組み合わせ情報のデータベースは、商品販売サービスの Web サイトにアクセ

スした利用者についての個人情報格納される利用者情報 3 0 1 と、この利用者によって商品が購入されることによって生成される購入情報 3 0 2 と、データベースに蓄積された組み合わせ情報の情報登録者についての個人情報格納される登録者情報 3 0 3 と、組み合わせ情報の具体的な内容が格納される組み合わせ情報テーブル 3 0 4 と、購入対象である商品についての商品マスター 3 0 5 と、商品の購入用途の種別が格納される用途種別 3 0 6 と、購入する際の組み合わせ方に関する種別が格納される組み合わせ方種別 3 0 7 等の項目によって、データが分類され、蓄積されている。

【 0 0 3 4 】

利用者情報 3 0 1 は、サービス提供サーバ 2 による商品販売サービスを利用している利用者についての情報であり、個別に割り当てられる「登録者 ID」や利用者の「氏名」「年齢」「住所」の情報、利用者が現在興味を持っている商品の用途を示す「興味ある用途」、およびこれまでの購入した商品について記述した後述する購入情報 3 0 2 の一覧を示す「購入情報リスト」等の項目の情報を含み、この利用者が組み合わせ情報の登録をすでに行っている場合は、他の利用者による閲覧およびそれに基づく購入によって生じた報酬額について、次回に支払われる「次回報酬」と、これまでの「トータル報酬」の項目に記述される。一方、登録者情報 3 0 3 は、過去に商品を購入し、その商品についての組み合わせ情報をデータベースに登録する情報登録者についての情報であり、利用者情報 3 0 1 と同様に、「登録者 ID」や情報登録者の「氏名」「年齢」「住所」の情報、情報登録者の「興味ある用途」、および「次回報酬」および「トータル報酬」について記述され、過去にこの商品販売サービスより商品を購入したことのある場合は、それについての「購入商品情報リスト」が含まれる。

【 0 0 3 5 】

購入情報 3 0 2 は、この商品販売サービスにおいて利用者が商品を購入した場合に生成され、「購入日」やその商品を特定する「購入商品コード」が記述される。また、このとき購入した商品についての組み合わせ情報がデータベースに登録されている場合は、その情報の ID が「組み合わせ情報 ID（登録）」の項目に記述され、このときの購入が提供された組み合わせ情報の閲覧に基づいて行わ

れた場合は、閲覧した情報の I D が「組み合わせ情報 I D（閲覧）」の項目に記述される。「購入商品コード」で示される各商品の詳細は、商品マスター 3 0 5 に記述される。商品マスター 3 0 5 では、「商品コード」の値とこれに対応する「商品名」、この商品の「価格」、商品の種類を示す「分類」、および「メーカー」の名前あるいはコードが記述される。

【 0 0 3 6 】

また、組み合わせ情報の I D に対応する組み合わせ情報の内容は、組み合わせ情報テーブル 3 0 4 に記述される。組み合わせ情報テーブル 3 0 4 では、「組み合わせ情報 I D」とこの「登録日」、購入情報 3 0 2 に記述されている元の商品、およびこれと組み合わせて購入した関連商品をそれぞれ特定する「購入商品コード 1」「購入商品コード 2」、この組み合わせ情報の「登録者 I D」、および、組み合わせに関する情報として、この関連商品の購入によってどのように役立つかを示す「購入用途」や、組み合わせた商品の関係等を示す「組み合わせ方の種別」、組み合わせについての「コメント」が記述される。また、商品販売サービスの利用者は、この組み合わせ情報の提供によって関連商品の紹介ページを閲覧した場合、および関連商品を購入した場合には、その回数が「閲覧回数」および「購入回数」に記述され、これらの情報は、情報登録者に対する報酬の算出基準、および、利用者に提供される際にその情報の正確性や質の高さを提示するための基準等として利用される。

【 0 0 3 7 】

さらに、この組み合わせ情報テーブル 3 0 4 における「購入用途」および「組み合わせ方の種別」の項目に記述し得る内容は、それぞれ用途種別 3 0 6 および組み合わせ方種別 3 0 7 に記述される。用途種別 3 0 6 には、購入用途の種別として例えば「ギフト」「ビジネス」等が記述され、組み合わせ方種別 3 0 7 には組み合わせた商品がどのような関係にあるかを示すために、例えば「相性」「補完性」「付加価値」等の種別が記述される。

【 0 0 3 8 】

次に、商品情報提供システム 1 における組み合わせ情報の登録および提供の処理について、図 3 に示すデータベース構造例を適宜参照しながら説明する。

まず、サービス提供サーバ2の具備するデータベースに対して、組み合わせ情報の登録が行われる場合、サービス提供サーバ2は、データベースに蓄積された購入情報302を検索して、所望の商品の購入者を抽出し、この購入者に対して電子メールを送信して、組み合わせ情報の登録を依頼する。この電子メールはサービス提供サーバ2の外部に存在する専門の業者等によって送信されてもよい。また、購入者の抽出は、商品のメーカーが有する購入リスト等を用いて行ってもよい。情報登録者端末4においてこの電子メールを受信した情報登録者は、電子メールに記載されたリンク情報を利用して、サービス提供サーバ2の提供する情報登録用のWebページにアクセスする。サービス提供サーバ2は、このアクセスに応じて情報登録用のWebページを情報登録者端末4に提供する。また、アクセスした情報登録者についての登録者情報303がデータベースに生成される。

【0039】

情報登録者は、このWebページに表示された登録画面に対して組み合わせ情報の入力を行い、サービス提供サーバ2に送信する。この入力情報は、電子メールを用いてサービス提供サーバ2に送信されてもよい。サービス提供サーバ2は、入力された情報を自動的にデータベースの組み合わせ情報テーブル304に登録する。

【0040】

ここで、図4に、情報登録者に提示される組み合わせ情報の登録画面の構成例を示す。

図4に示す登録画面400は、情報登録用のWebページとして、情報登録者端末4で表示される画面の例を示している。この登録画面400では、例として商品名「A」というパーソナルコンピュータの購入者に対する画面を示しており、情報登録者に対して組み合わせ情報の登録を依頼する文書401とともに、商品のジャンルを選択する選択部402、組み合わせる関連商品の名前を入力する入力部403、その関連商品が販売されるオンラインモール中の販売ショップ名を選択する選択部404、関連商品の用途についての選択部405、組み合わせ方の種別を選択する選択部406、および組み合わせに関するコメントの入力部407等が表示される。なお、選択部402、404、405および406では

、各表示の右端の矢印部 4 0 2 a、4 0 4 a、4 0 5 a および 4 0 6 a をクリックすることによって表示される入力項目を選択することによって情報が入力され、入力部 4 0 3 および 4 0 7 では、キーボードを用いて直接文字入力を行うことにより、情報が入力される。

【 0 0 4 1 】

選択部 4 0 2 および 4 0 4 と入力部 4 0 3 では、組み合わせる商品を特定するための情報が入力され、選択部 4 0 5 および 4 0 6 と入力部 4 0 7 では、この組み合わせ情報の利用者への提供時に提供するための、組み合わせに関する情報が入力される。例えば、選択部 4 0 5 の入力情報は、図 3 に示すデータベース構造中の用途種別 3 0 6 に対応して、この情報がどんな用途や場面において役立つのかを示し、例えばギフト、ビジネス、ネットにおける使用、ファッション、恋愛、モバイル用途、グルメ等の種別が考えられる。また、同様に選択部 4 0 5 の入力情報は、組み合わせ方種別 3 0 7 に対応して、組み合わせによってどんな効果が生じるかを示し、例えば相性の良さ、補完性、付加価値、色やデザインのマッチ、成功／失敗、注意、ユニークな使い方等の種別が考えられる。さらに、入力部 4 0 7 には、この組み合わせがどんな点で便利か、あるいは役立ったかといったことを、短い文章で自由に入力することができる。その他、登録画面 4 0 0 に入力される情報としては、情報登録者の氏名、年齢、住所、趣味等のプロフィール情報や、これらのプロフィール情報の一部を利用者への提供の際に掲載することの可否等が考えられ、これらを別の画面において入力するようにしてもよい。

【 0 0 4 2 】

このようにして情報登録者によって入力された情報は、図 3 に示すデータベース構造中の組み合わせ情報テーブル 3 0 4 に格納される。組み合わせ情報テーブル 3 0 4 では、この情報登録によって割り当てられた「組み合わせ ID」や「登録日」がセットされる。また、この情報登録者がすでに組み合わせ情報の登録や、商品販売サービスの利用者としてデータベースに登録されている場合は、その登録者 ID が格納される。このように、情報登録者からの登録が行われるたびに、組み合わせ情報テーブル 3 0 4 が生成され、利用者に提供される組み合わせ情報の候補としてデータベースに蓄積されていく。

【 0 0 4 3 】

次に、図 5 に、サービス提供サーバ 2 における組み合わせ情報の登録処理のフローチャートを示す。

ステップ S 5 0 1 において、サービス提供サーバ 2 は、HDD 2 3 に格納されたデータベースの購入情報 3 0 2 を検索し、購入商品コードから所望の商品の購入者を抽出する。ステップ S 5 0 2 において、組み合わせ情報の登録を依頼する内容の電子メールを作成し、抽出された購入者に対して送信する。ステップ 5 0 3 において、この電子メールを受信した情報登録者からのアクセスを受けて、情報登録者端末 4 に対して、情報登録用の Web ページの画像データを送信する。ステップ S 5 0 4 において、この Web ページに対する情報登録者からの入力情報を受信したかどうか判断され、受信しなかった場合は処理を終了し、受信した場合はステップ S 5 0 5 に進む。ステップ S 5 0 5 において、受信した入力情報をデータベースの組み合わせ情報テーブル 3 0 4 に格納し、これによって組み合わせ情報が自動的に登録される。

【 0 0 4 4 】

次に、商品販売サービスの利用者への組み合わせ情報の提供について説明する。

商品販売サービスの利用者は、利用者端末 3 よりサービス提供サーバ 2 にアクセスし、商品販売サービスの Web サイトを閲覧する。この Web サイトでは、利用者は商品を購入する際、例えば、この Web サイトの中のあるオンラインショップにおいて紹介された商品について、いわゆるショッピングカートに入れる操作、すなわち購入する候補として一時的に選択する操作を行ったあと、他の商品についての閲覧等を行って購入を検討した後、最終的にショッピングカートに入れられた商品についての購入申し込みをする操作を行う。このとき、ショッピングカートに入れられた商品を購入しないこともできる。購入申し込みが行われた商品については、電子マネーや銀行振り込み等によって、代金が決済される。

【 0 0 4 5 】

このような Web サイトにおいて、利用者がある商品を選択し、ショッピングカートに入れる操作を行った場合等に、サービス提供サーバ 2 ではこの選択信号

の受信とともに、データベースを検索して、選択された商品についての関連商品との組み合わせ情報を抽出する。この検索は、データベース中の組み合わせ情報テーブル 3 0 4 を参照し、例えば「購入商品コード 1」が対象商品の商品コードと一致する情報を抽出する。抽出した組み合わせ情報は、利用者端末 3 に送信され、利用者は提供された組み合わせ情報を閲覧して、必要な関連商品の紹介ページを閲覧することができ、さらにこの関連商品の購入申し込みを行うことが可能となる。なお、組み合わせ情報の検索は、利用者が関連商品の購入申し込みを行った時点、あるいはこのオンラインモールからチェックアウトした時点で行われてもよい。

【 0 0 4 6 】

ここで、図 6 に、利用者端末 3 のモニタ 3 5 に表示される組み合わせ情報の表示画面の構成例を示す。

組み合わせ情報として表示される表示画面 6 0 0 には、図 3 のように組み合わせて購入し得る関連商品についての情報が、複数提示される。図 6 ではこのような関連商品として「B」「C」「D」という 3 種類の商品が提示されている。各商品欄には、商品名とともに、その商品に関するコメント、この組み合わせによってどんな効果が生じるか、この情報がどんな用途や場面において役立つのかといった情報が、表示部 6 0 1、6 0 2 および 6 0 3 に表示される。これらに表示される情報は、組み合わせ情報テーブル 3 0 4 に含まれる「コメント」「組み合わせ方の種別」「用途種別」の項目より、それぞれ抽出される。これらの表示部において表示される情報は、基本的には元の商品（図 6 ではパーソナルコンピュータ「A」）と組み合わせて購入することによって生じる好ましい効果が記載されるが、他に、購入時の注意点や「購入したことが失敗であった」といった警告等の情報でもよい。

【 0 0 4 7 】

また、この組み合わせ情報の有益性や信頼度、あるいはこの組み合わせ情報に対する他の利用者の関心度等のレベルを示す情報が、表示部 6 0 4 において星の数によって表示される。サービス提供サーバ 2 では、データベースの組み合わせ情報テーブル 3 0 4 における「閲覧回数」「購入回数」の項目で、表示画面 6 0

0 の閲覧に基づいて、過去に関連商品を紹介する W e b ページが閲覧された回数、および関連商品の購入が行われた回数がそれぞれ記録されており、表示部 6 0 4 の表示はこの回数の値を基に決定される。すなわち、他の利用者によるこの組み合わせ情報の閲覧に基づく関連情報の紹介ページの閲覧、あるいは関連情報の購入等、組み合わせ情報の過去の利用頻度の高さによって、この情報の信頼度や有益性、関心度を示している。

【 0 0 4 8 】

なお、サービス提供サーバ 2 において、利用者からのクレームを受け付ける機能を設け、クレームを受けた組み合わせ情報については、表示部 6 0 4 における星の数を減らす、あるいは、一覧から取り除く等の処理を行うことによって、さらに情報の信頼性を高めることができる。

【 0 0 4 9 】

また、この関連商品を紹介する W e b ページや、関連商品が掲載されているオンラインショップの先頭ページへリンクするためのリンク情報が、リンク表示部 6 0 5 および 6 0 6 に表示される。利用者は、この表示画面 6 0 0 の情報に基づいて、提示された関連商品の詳細を閲覧する場合には、リンク表示部 6 0 5 をクリック操作する。これによって、関連情報を紹介する W e b ページが表示され、さらにこの画面から、ショッピングカートに加える操作や購入申し込みを行うことができる。

【 0 0 5 0 】

なお、元の商品の紹介用の W e b ページにおいて、組み合わせ情報を表示するための選択ボタン等を設けて、利用者がこれを選択操作することによって、検索が行われるようにしてもよい。この場合、例えば選択ボタンとして、ある商品を用いる用途等を示し、この商品に組み合わせるべき関連商品についてのアドバイスを求めるアドバイスボタンや、ある商品とこの関連商品との組み合わせに関して、相性の良さや成功例、失敗例、注意等の情報を求めるためのチェックボタン等を表示する。サービス提供サーバ 2 では、組み合わせ情報テーブル 3 0 4 において、購入商品コード 1 に加え「購入用途」「組み合わせ方の種別」等を検索の対象項目とする。

【 0 0 5 1 】

また、データベースの検索時において、利用者情報 3 0 1 に格納された利用者のプロフィール情報等を参照し、これらの情報が類似する情報登録者によって提供された組み合わせ情報を抽出するようにしてもよい。この場合、サービス提供サーバ 2 におけるデータベースの検索時において、利用者の利用者情報 3 0 1 より年齢や職業等のプロフィール情報、あるいは「興味ある用途」等、所定の検索対象項目の記録情報を抽出する。一方、該当商品の組み合わせ情報テーブル 3 0 4 に記述された「登録者 ID」から、情報登録者の登録者情報 3 0 3 を参照し、上記の検索対象項目の記録情報を利用者の情報と比較して、一致する組み合わせ情報を利用者に提供する。また、一致項目の多い組み合わせ情報を優先的に提供するようにしてもよい。このように、サービス提供サーバ 2 では、データベースにおける検索対象項目を自由に設定して検索を行うことによって、利用者の有するプロフィールや興味等に応じた最適な組み合わせ情報の提供を行うことが可能となる。

【 0 0 5 2 】

さらに、サービス提供サーバ 2 が、利用者の購入済み商品や購入検討中の商品のリストを具備し、このリストに記録された商品と、今回購入を検討中の商品との組み合わせ情報を抽出するようにしてもよい。また、提供される組み合わせ情報の表示画面 6 0 0 において、組み合わせ情報を提供した情報登録者に対して、電子メールや電子掲示板を用いて問い合わせる機能を設けてもよい。この場合、例えば、表示画面 6 0 0 において、情報登録者の電子メールアドレスや電子掲示板へのリンク情報を示すことで、利用者が容易に情報登録者と連絡が取れるようにし、これによって利用者は、提供された組み合わせ情報について、情報登録者に直接相談することができ、より正確な組み合わせ情報を得ることができる。また、情報登録者に対して利用者から直接連絡があった場合は、サービス提供サーバ 2 においてこの回数を蓄積して、これに応じて情報提供者に報酬を与えるようにしてもよい。

【 0 0 5 3 】

一方、組み合わせ情報の提供後、サービス提供サーバ 2 では、利用者によって

関連商品を紹介するWebページが閲覧された、あるいは利用者によって関連商品が購入された等の場合に、データベースに蓄積されている閲覧あるいは購入の回数が加算される。この回数の値は、データベースにおいて組み合わせ情報テーブル304に含まれる「閲覧回数」および「購入回数」の項目に記述されて、組み合わせ情報を登録した情報登録者に対する報酬の算出基準となる。情報登録者は、例えば電子マネーや商品券等として、これらの項目に蓄積された回数に応じた報酬を、例えば一定期間ごとに蓄積分をまとめて得ることができる。

【0054】

なお、組み合わせ情報の提供に基づいて、利用者が関連情報の紹介ページを閲覧した場合、および関連商品を購入した場合は、サービス提供サーバ2の運営者が、関連商品のWebページへの掲載依頼者や関連商品の製造または販売業者より、関連商品の紹介ページへ利用者を導いたこと、および関連商品が購入されたことによる報酬を受け取るようにしてもよい。

【0055】

次に、図7に、サービス提供サーバ2における利用者に対する組み合わせ情報の提供処理のフローチャートを示す。

図7のフローチャートの開始時において、サービス提供サーバ2は、利用者によって選択された商品を紹介するWebページの画像データを利用者端末3に対して送信した後の、利用者端末3から送信される信号の受信待機状態となっている。また、この利用者の利用者情報301がデータベースにおいて生成される。ステップS701において、利用者端末3において利用者によって商品を購入候補とする選択操作が行われて、これにともなう選択信号が送信され、この選択信号を受信する。ステップS702において、HDD23に格納されたデータベースの組み合わせ情報テーブル304を検索する。ステップS703において、この検索処理によって該当する商品に関する組み合わせ情報が抽出されたかどうか判断され、抽出された場合はステップS704に進み、抽出されなかった場合は、組み合わせ情報の提供処理を終了する。ステップS704において、抽出された組み合わせ情報を表示するための画像データを生成し、利用者端末3に対して送信する。

【 0 0 5 6 】

ステップ S 7 0 5 において、組み合わせ情報に示された関連商品を紹介する W e b ページへのリンク情報が選択操作されたことにともなう選択信号の受信の有無が判断され、受信した場合はステップ S 7 0 6 に進み、受信しない場合は組み合わせ情報の提供処理を終了する。ステップ S 7 0 6 において、H D D 2 3 より関連情報の紹介ページの画像データを読み出し、利用者端末 3 に対して送信する。また、ステップ S 7 0 7 において、ステップ S 7 0 2 の検索処理によって抽出された組み合わせ情報テーブル 3 0 4 中の「閲覧回数」の項目の値をカウントアップする。ステップ S 7 0 8 において、組み合わせ情報として示した関連商品に対する購入申し込みを行う信号の受信の有無が判断され、受信した場合はステップ S 7 0 9 に進み、受信しない場合は組み合わせ情報の提供処理を終了する。ステップ S 7 0 9 において、ステップ S 7 0 2 の検索処理によって抽出された組み合わせ情報テーブル 3 0 4 中の「購入回数」の項目の値をカウントアップする。また、データベース中にこの購入申し込みによる購入情報 3 0 2 を生成し、「組み合わせ情報（閲覧）」の項目に、抽出された組み合わせ情報テーブル 3 0 4 の「組み合わせ情報 I D」の値を記述する。

【 0 0 5 7 】

ステップ S 7 1 0 において、提供した組み合わせ情報に基づいて関連商品を購入した利用者に対して、この関連商品と元の商品との組み合わせに関する組み合わせ情報の登録を依頼する処理を実行する。この処理は、図 5 に示した組み合わせ情報の登録処理のフローチャートにおける、ステップ S 5 0 3 ～ 5 0 5 の処理によって行われる。すなわち、組み合わせ情報の登録用の W e b ページの画像データを利用者端末 3 に対して送信し、この W e b ページに対して利用者によって情報が入力された場合、入力情報を受信して組み合わせ情報テーブルに格納する。

【 0 0 5 8 】

ここで、図 8 に、利用者端末 3 のモニタ 3 5 に表示される、関連商品の購入者に対する組み合わせ情報の登録画面の構成例を示す。

図 8 に示す登録画面 8 0 0 は、図 7 のステップ S 7 1 0 の登録依頼処理におい

て、商品とその関連商品を購入した利用者に対する情報登録用のWebページとして、情報登録者端末4で表示される画面の例を示している。この登録画面800は、パーソナルコンピュータ「A」と、その関連商品としてPCキャリーケース「B」および仮想CD-ROMソフト「D」とを同時に購入した利用者に対して、購入した商品「A」と各関連商品「B」および「D」との組み合わせによる組み合わせ情報を登録するための画面を示している。

【0059】

登録画面800では、組み合わせ情報の登録を依頼する文書801、および購入した関連商品の一覧を表示した文書802とともに、関連商品を使用する用途についての選択部803、組み合わせ方の種別を選択する選択部804、および組み合わせに関するコメントの入力部805等が表示される。選択部803および804では、各表示の右端の矢印部803aおよび804aをクリックすることによって表示される入力項目を選択することによって情報が入力され、入力部805では、キーボードを用いて直接文字入力を行うことにより情報が入力される。この選択部803および804、入力部805の入力情報は、サービス提供サーバ2に送信され、データベースに含まれる組み合わせ情報テーブル304における「購入用途」「組み合わせ情報の種別」「コメント」の項目にそれぞれ記述され、同時にこの組み合わせ情報テーブル304の「組み合わせ情報ID」が、登録画面800に表示された商品「A」の購入によって生成された購入情報302における「組み合わせ情報ID（登録）」の項目に記述される。

【0060】

なお、通常、このような登録依頼処理は、図7のステップS709における関連商品の購入回数のカウントアップ処理を実行した後、所定の日数が経過した後に行われる。この場合、利用者による購入申し込みがなされ、所定の日数の経過後に、電子メール等を利用して利用者に情報の登録を依頼し、これによってアクセスした利用者に対して、図5におけるステップS503から505の処理を行う。また、登録する組み合わせ情報においては、購入した関連商品に対する好ましい効果についての情報の他に、購入による不満点、問題点等の情報を入力してもよい。サービス提供サーバ2では、このような入力情報に基づいて、例えば

クレームの多い情報について調査する、あるいは問題のある登録情報を削除するといった措置をとる機能を設けることによって、その後に提供される組み合わせ情報の品質を高めることができる。

【 0 0 6 1 】

以上のように、商品情報提供システム 1 では、サービス提供サーバ 2 によってインターネット 5 を通じた商品販売サービスが利用者に対して提供され、さらにこの利用者に対して、購入する商品とその関連商品との組み合わせ情報が提供される。この組み合わせ情報は、以前にこの商品を購入した情報登録者によってデータベースに登録されて蓄積され、利用者の購入する商品やその他の付加条件に応じてデータベース中のさまざまな蓄積項目が検索され、的確な情報が抽出されて利用者に提供されるため、組み合わせて購入し得る関連商品について、利用者の商品の購入時における有益な情報が提供される。また、商品販売サービスの提供者にとっては、組み合わせ情報の提供によって、利用者を元の商品の他に、関連商品の紹介ページを閲覧することで、オンラインショップあるいはオンラインモール全体に利用者を導くことができ、結果として商品の売り上げを上昇させることができる。

【 0 0 6 2 】

一方、サービス提供サーバ 2 への組み合わせ情報の登録は、情報登録者端末 4 より電子メールや Web ページを利用して行われ、多くの情報を効率よく収集することができる。また、登録した組み合わせ情報に基づいて、利用者が関連商品の紹介ページを閲覧する、あるいはこれに基づいて関連商品を購入した場合は、このような閲覧または購入の回数をサービス提供サーバ 2 において蓄積し、この回数に応じて情報登録者に報酬を与えることによって、データベースに対する情報登録者を増加させることができる。さらに、この商品販売サービスを利用して商品および関連商品を購入した利用者に対して、商品の購入後直ちにあるいは一定日数経過後に、組み合わせ情報の登録依頼を行うことによって、データベースの登録情報の収集をさらに効率よく行うことが可能となる。

【 0 0 6 3 】

なお、以上の商品情報提供システム 1 では、組み合わせ情報を蓄積するデータ

ベースはサービス提供サーバ2内に設けられていたが、サービス提供サーバ2とは別に設置された専用の情報提供サーバに設けられてもよい。また、回数蓄積部2bおよび登録ページ2eも、その専用の情報提供サーバに設けられてもよく、関連商品ページ2dは、さらに別のサービス提供サーバに設けられてもよい。これらの場合、サービス提供サーバ2の開設するWebサイトはオンラインでの商品販売サービスのみを行い、外部の情報提供サーバはサービス提供サーバ2とネットワークを介して接続されて、このようなWebサイトに対してデータベースを用いた商品の組み合わせ情報の提供サービスを行う。例えば、オンラインショップにおける商品を紹介するWebページを閲覧中の利用者が、購入候補として商品の選択を行った場合、あるいは商品の購入申し込みを行った場合、サービス提供サーバ2は利用者端末3よりこの選択信号あるいは購入申し込みの信号を受信すると同時に、情報提供サーバに対してこの商品に対応する組み合わせ情報を問い合わせる。情報提供サーバは、この問い合わせ情報に基づいてデータベースを検索し、抽出された組み合わせ情報を送信する。この組み合わせ情報は、一旦サービス提供サーバ2において受信された後、利用者端末3に送信される。また、情報提供サーバから利用者端末3に直接送信されてもよい。以上のような構成により、組み合わせ情報を提供するサービス機能を、複数のWebサーバがネットワーク上において共有することが可能となる。

【0064】

このような情報提供サーバは、例えばASP (Application Service Provider) として実現され、情報の提供によって関連商品ページが閲覧された回数、あるいは商品が販売された回数に応じた報酬が、サービス提供サーバ2側や商品の販売者等から与えられる。なお、上記の場合、組み合わせ情報の登録用Webページは、サービス提供サーバ2、または情報提供サーバのいずれにおいて提供されてもよい。

【0065】

また、データベースに蓄積された組み合わせ情報より抽出した情報が、商品のマーケティング情報として生成され、外部の事業者に販売されてもよい。図9に、データベースより生成されるマーケティング情報の例を示す。

【 0 0 6 6 】

図 9 では、データベースに蓄積された組み合わせ情報を用いて生成され得るマーケティング情報の例について、ターゲット別マーケティング情報 9 0 1、購入者情報 9 0 2、および商品開発・改善情報 9 0 3 の 3 種類に分類して示している。ターゲット別マーケティング情報 9 0 1 としては、例えば利用者の年齢別、目的別および嗜好別に、提供する推奨商品の組み合わせ情報を分別したリストを生成することができる。これらのリストは、データベース中の利用者情報 3 0 1 および登録者情報 3 0 3 における蓄積情報、あるいは組み合わせ情報テーブル 3 0 4 における「購入用途」「組み合わせ方の種別」の項目における情報に基づいて抽出することにより得られる。このような購入者のターゲット別に分類された購入商品の組み合わせの情報としては、従来のデータマイニングによって、組み合わせられる商品の傾向や比率等を知ることができるが、ターゲット別マーケティング情報 9 0 1 に示される情報では、組み合わせて購入する理由や用途等の情報を知ることができ、購入商品の組み合わせに関するより詳しい分析が可能となる。

【 0 0 6 7 】

また、購入者情報 9 0 2 としては、例えば利用者が購入した商品の履歴や、利用者が購入を推奨された商品のうち実際に購入しなかった未購入商品のリスト、および商品ごとの購入者の属性等、商品販売サービスを利用した各利用者の購入行動に関する情報を抽出することができる。さらに、商品開発・改善情報 9 0 3 としては、例えば組み合わせた購入を推奨した関連商品のうち、実際には購入されなかった未販売品の情報や、組み合わせ情報あるいは各商品に対する改善指摘項目のリスト、および、データベースがサービス提供サーバ 2 の外部の情報提供サーバに設けられた場合に、組み合わせ情報の提供を求めた商品サービス業者等を分類して、商品がどのようなルートで販売されたかを知ることが可能な販売チャネルリスト等、販売された各商品に関する情報を抽出することができる。

【 0 0 6 8 】

次に、図 1 0 に、生成されたマーケティング情報の内容の記述例を示す。図 1 0 の記述例では、ノート型パーソナルコンピュータ（以下、ノート P C と略称す

る)とPCキャリーケースとの20代の同時購入者に関するマーケティング情報が、マーケティングレポートとして記述されている。例えば、色やデザインのマッチングという観点からは、ノートPC「A」とPCキャリーケース「B」、およびノートPC「E」とPCキャリーケース「F」という購入組み合わせが、利用者に好評であったことが記述されている。また、50代以上の同時購入者では、「軽い」「持ちやすい」といった観点から、ノートPC「A」とPCキャリーケース「B」という組み合わせが好評であり、さらに同時購入者の年代別の比率が記述されている。

【0069】

このようなマーケティング情報を、商品の企画業者や製造業者、流通業者等に販売することにより、商品情報提供システム1を用いて、商品販売に関する総合的なビジネスを展開することが可能となる。上述したように、商品情報提供システム1では、多数の情報を登録するための機構や情報の信頼性を高める機構が設けられていることから、データベースの蓄積情報からは、多くの利用者から抽出された信頼性の高いマーケティング情報を生成することができ、このマーケティング情報は商品の開発者や製造者、販売者等にとってきわめて重要な情報となる。

【0070】

さらに、サービス提供サーバ2による商品販売サービスでは、アフィリエイト機構によって契約した他のWebサイトに対して、関連商品の販売に対するアフィリエイト報酬を与えることも可能である。この場合、アフィリエイト機構による契約Webサイトでは、サービス提供サーバ2によるオンラインショップまたはオンラインモールへのリンク情報を表示し、この契約Webサイトの閲覧者が、表示されたリンク情報を選択することによってサービス提供サーバ2にアクセスして商品を購入した場合に、契約Webサイトに対して報酬が与えられる。さらにこの閲覧者が、サービス提供サーバ2より組み合わせ情報の提供を受けて関連商品を購入した場合は、契約Webサイトに対してさらに多くの報酬が与えられる。このように、他のWebサイトに対してアフィリエイト契約を行うことによって、商品販売サービスの集客能力を一層高めることができ、また、データベ

ースにおける蓄積情報の数を増加させ、より価値の高い組み合わせ情報の提供を行うことが可能となる。

【 0 0 7 1 】

なお、上記のサービス提供サーバ 2 の有する機能の処理内容は、コンピュータで読み取り可能な記録媒体に記録されたプログラムに記述しておくことができる。そして、このプログラムをコンピュータで実行することにより、上記処理がコンピュータで実現される。コンピュータで読み取り可能な記録媒体としては、磁気記録装置や半導体メモリ等がある。市場に流通させる場合には、CD-ROM (Compact Disk-Read Only Memory) やフロッピーディスク等の可搬型記録媒体にプログラムを格納して流通させたり、ネットワークを介して接続されたコンピュータの記憶装置に格納しておき、ネットワークを通じて他のコンピュータに転送することもできる。コンピュータで実行する際には、コンピュータ内のハードディスク装置等にプログラムを格納しておき、メインメモリにロードして実行する。

【 0 0 7 2 】

(付記 1) 利用者端末よりネットワークを通じて商品を購入する利用者に対して、前記商品に組み合わせて購入し得る関連商品についての情報を提供する商品情報提供方法において、

以前に前記商品を購入した情報登録者より、前記商品とこれに対応する前記関連商品との組み合わせに関する組み合わせ情報の提供を受けて、データベースに登録して蓄積し、

前記利用者からの前記組み合わせ情報に対する問い合わせ情報に基づいて前記データベースを検索し、該当する前記組み合わせ情報を抽出して前記利用者に提供する、

ことを特徴とする商品情報提供方法。

【 0 0 7 3 】

(付記 2) 前記問い合わせ情報は、購入候補とするため、または購入申し込みを行うために、前記利用者が前記商品を選択したことを示す選択信号として受信することを特徴とする付記 1 記載の商品情報提供方法。

【 0 0 7 4 】

（付記 3） 前記問い合わせ情報は、前記利用者による入力によって前記利用者端末から送信されることを特徴とする付記 1 記載の商品情報提供方法。

（付記 4） 前記問い合わせ情報は、前記利用者端末より、前記商品を販売するオンラインショップを提供する Web サーバを介して送信されることを特徴とする付記 1 記載の商品情報提供方法。

【 0 0 7 5 】

（付記 5） 抽出された前記組み合わせ情報が前記利用者端末に送信された後、参照した前記組み合わせ情報に基づいて前記利用者によって前記関連商品の購入申し込みが行われた回数を蓄積することを特徴とする付記 1 記載の商品情報提供方法。

【 0 0 7 6 】

（付記 6） 抽出された前記組み合わせ情報は、前記関連商品の紹介用 Web ページへのリンク情報を含み、前記組み合わせ情報が前記利用者端末に送信された後、参照した前記組み合わせ情報に基づいて前記利用者によって前記紹介用 Web ページへリンクされ、閲覧された回数を蓄積することを特徴とする付記 1 記載の商品情報提供方法。

【 0 0 7 7 】

（付記 7） 参照した前記組み合わせ情報に基づく前記利用者による前記関連商品の購入申し込みまたは前記紹介用 Web ページの閲覧の回数に応じて、前記組み合わせ情報の提供元である前記情報登録者に対して報酬が与えられることを特徴とする付記 5 または 6 記載の商品情報提供方法。

【 0 0 7 8 】

（付記 8） 参照した前記組み合わせ情報に基づく前記利用者による前記関連商品の購入申し込みまたは前記紹介用 Web ページの閲覧の回数に応じて、前記組み合わせ情報を前記利用者に提供する際の優先度を決定することを特徴とする付記 5 または 6 記載の商品情報提供方法。

【 0 0 7 9 】

（付記 9） 参照した前記組み合わせ情報に基づく前記利用者による前記関連

商品の購入申し込みまたは前記紹介用 W e b ページの閲覧の回数に応じて、前記関連商品の販売者または前記紹介用 W e b ページの運営者から、前記データベースの管理者に対して報酬が与えられることを特徴とする付記 5 または 6 記載の商品情報提供方法。

【 0 0 8 0 】

(付記 1 0) 前記データベースに蓄積される前記組み合わせ情報は、前記情報登録者より電子メールまたは登録用 W e b ページを用いて登録されることを特徴とする付記 1 記載の商品情報提供方法。

【 0 0 8 1 】

(付記 1 1) 前記データベースより抽出された前記組み合わせ情報が前記利用者端末に送信された後、参照した前記組み合わせ情報に基づいて前記利用者が前記関連商品の購入申し込みを行ったことを確認すると、その後の所定の時期において、前記データベースに蓄積するための前記組み合わせ情報の提供を求める内容の電子メールを前記利用者に対して送信することにより、前記組み合わせ情報が登録されることを特徴とする付記 1 0 記載の商品情報提供方法。

【 0 0 8 2 】

(付記 1 2) 前記データベースに蓄積された組み合わせ情報より生成したマーケティング情報が外部に販売されることを特徴とする付記 1 記載の商品情報提供方法。

【 0 0 8 3 】

(付記 1 3) 利用者が利用者端末よりネットワークを通じて商品を購入する際に、前記商品に組み合わせて購入し得る関連商品についての情報を取得するための商品情報取得方法において、

前記商品とこれに対応する前記関連商品との組み合わせに関する組み合わせ情報の送信に対する問い合わせ情報を、以前に前記商品を購入した情報登録者によって登録された前記組み合わせ情報をデータベースとして蓄積するサーバに対して送信し、

前記問い合わせ情報に基づく前記データベースの検索によって抽出された前記組み合わせ情報を前記サーバより受信して出力する、

ことを特徴とする商品情報取得方法。

【 0 0 8 4 】

（付記 1 4） 前記問い合わせ情報は、購入候補とするため、または購入申し込みを行うために、前記利用者が前記商品を選択したことによって発生する選択信号として送信することを特徴とする付記 1 3 記載の商品情報取得方法。

【 0 0 8 5 】

（付記 1 5） 前記問い合わせ情報の送信、および前記組み合わせ情報の受信は、前記商品を販売するオンラインショップを提供する W e b サーバを介して行われることを特徴とする付記 1 3 記載の商品情報取得方法。

【 0 0 8 6 】

（付記 1 6） 受信した前記組み合わせ情報に基づいて前記購入申し込みを行う信号を送信した後、所定の時期において、前記購入申し込みを行った前記商品に対する前記組み合わせ情報の前記データベースへの登録を要請する電子メールを受信し、所定の事項を入力した登録組み合わせ情報を、返信の電子メールとして送信する、あるいは前記登録を要請する電子メール中に記述された前記組み合わせ情報の登録用 W e b ページにアクセスして送信することを特徴とする付記 1 3 記載の商品情報取得方法。

【 0 0 8 7 】

（付記 1 7） 前記サーバにおいて、前記利用者が送信した前記登録組み合わせ情報を他の利用者が参照し、これに基づいて前記関連商品を購入した場合、あるいは前記登録組み合わせ情報に記載された前記関連商品の紹介用 W e b ページへ前記他の利用者がリンクして閲覧した場合に、前記利用者は前記関連商品の購入または前記紹介用 W e b ページの閲覧の回数に応じた報酬を受けることが可能となることを特徴とする付記 1 3 記載の商品情報取得方法。

【 0 0 8 8 】

（付記 1 8） 利用者がネットワークを通じて商品を購入する際に提供するための、前記商品に組み合わせて購入し得る関連商品についての情報を登録するための商品情報登録方法において、

情報登録者端末において、前記商品とこれに対応する前記関連商品との組み合

わせに関する組み合わせ情報として、電子メールを用いて、あるいは前記組み合わせ情報の登録用 Web ページにアクセスして、所定の事項を入力し、前記組み合わせ情報をデータベースとして蓄積するサーバに対して送信することを特徴とする商品情報登録方法。

【 0 0 8 9 】

(付記 1 9) 前記サーバにおいて、情報登録者が送信した前記組み合わせ情報を他の利用者が参照し、これに基づいて前記関連商品を購入した場合、あるいは前記組み合わせ情報に記載された前記関連商品の紹介用 Web ページへ前記他の利用者がリンクして閲覧した場合に、前記情報登録者は前記関連商品の購入または前記紹介用 Web ページの閲覧の回数に応じた報酬を受けることが可能となることを特徴とする付記 1 8 記載の商品情報登録方法。

【 0 0 9 0 】

(付記 2 0) 利用者端末よりネットワークを通じて商品を購入する利用者に対して、前記商品に組み合わせて購入し得る関連商品についての情報を提供する商品情報提供プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体において、

前記商品とこれに対応する前記関連商品との組み合わせに関する組み合わせ情報を蓄積するデータベース、

以前に前記商品を購入した情報登録者より提供された前記組み合わせ情報を前記データベースに登録する情報登録手段、

前記利用者からの前記組み合わせ情報に対する問い合わせ情報に基づいて前記データベースを検索し、該当する前記組み合わせ情報を抽出して前記利用者端末に送信する情報出力手段、

前記情報登録者によって登録された前記組み合わせ情報を、前記利用者が参照し、これに基づいて前記関連商品を購入したことが確認された場合、あるいは前記組み合わせ情報に記載された前記関連商品の紹介用 Web ページへ前記利用者がリンクして閲覧したことが確認された場合に、前記関連商品の購入または前記紹介用 Web ページの閲覧に応じて前記情報登録者に対して与えられる報酬を示す値を蓄積する報酬蓄積手段、

としてコンピュータを機能させることを特徴とする商品情報提供プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【0091】

（付記21） 利用者端末よりネットワークを通じて商品を購入する利用者に対して、前記商品に組み合わせて購入し得る関連商品についての情報を提供する商品情報提供装置において、

前記商品とこれに対応する前記関連商品との組み合わせに関する組み合わせ情報を蓄積するデータベースと、

以前に前記商品を購入した情報登録者より提供された前記組み合わせ情報を前記データベースに登録する情報登録手段と、

前記利用者からの前記組み合わせ情報に対する問い合わせ情報に基づいて前記データベースを検索し、該当する前記組み合わせ情報を抽出して前記利用者端末に送信する情報出力手段と、

前記情報登録者によって登録された前記組み合わせ情報を、前記利用者が参照し、これに基づいて前記関連商品を購入したことが確認された場合、あるいは前記組み合わせ情報に記載された前記関連商品の紹介用Webページへ前記利用者がリンクして閲覧したことが確認された場合に、前記関連商品の購入または前記紹介用Webページの閲覧に応じて前記情報登録者に対して与えられる報酬を示す値を蓄積する報酬蓄積手段と、

を有することを特徴とする商品情報提供装置。

【0092】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明の商品情報提供方法では、利用者に提供される組み合わせ情報が、以前にこの商品を購入した情報登録者によって、登録用Webページや電子メールを用いてネットワークを通じて容易に多数登録されて、データベースに蓄積される。登録された情報には、組み合わせる商品を特定する情報だけでなく、効果や使用方法等の組み合わせに関する情報が記述される。一方、蓄積された組み合わせ情報は、データベースの検索によって抽出され、商品を購入する利用者に対してネットワークを通じて送信される。これによって、組み合

わせて購入し得る関連商品についての的確な情報を利用者に対して提供することができ、さらに、利用者が関連商品も購入する可能性が高くなることで、クロスセルにより商品の売り上げが上昇する。このような組み合わせ情報を利用者に対して提供する機能は、複数のサーバによってネットワーク上において共有して利用することが可能である。

【0093】

また、本発明の商品情報取得方法では、商品を購入する利用者が、利用者端末を通じて、組み合わせ情報をデータベースとして蓄積するサーバに対して、組み合わせ情報に対する問い合わせ情報を送信すると、この問い合わせ情報に基づいてデータベースが検索され、該当する組み合わせ情報が抽出されて送信される。受信した組み合わせ情報には、組み合わせる商品を特定する情報だけでなく、効果や使用方法等の組み合わせに関する情報が記述され、なおかつ、この情報は以前にこの商品を購入した情報登録者によって登録されたものであるもので、利用者は組み合わせて購入し得る関連商品についての的確な情報を取得することができる。

【0094】

さらに、本発明の商品情報登録方法では、以前に商品を購入した情報登録者が、情報登録者端末より、電子メール、あるいは登録用Webページにアクセスすることによって、組み合わせ情報をデータベースに容易に登録することができる。また、情報登録者が送信した組み合わせ情報に基づいて、他の利用者が関連商品を購入した場合、あるいは関連商品の紹介用Webページへリンクしてこれを閲覧した場合には、情報登録者がこれらの回数に応じた報酬を受けられるようにすることによって、組み合わせ情報のデータベースへの登録件数を増加させることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

商品情報提供システムにおける処理を概念的に示す図である。

【図2】

本発明の1実施例である商品情報提供システムの概略構成例を示す図である。

【図 3】

組み合わせ情報のデータベース構成を示す図である。

【図 4】

データベースへの情報の登録画面の構成例を示す図である。

【図 5】

サービス提供サーバにおける組み合わせ情報の登録処理のフローチャートを示す。

【図 6】

組み合わせ情報の表示画面の構成例を示す図である。

【図 7】

サービス提供サーバにおける組み合わせ情報の提供処理のフローチャートを示す。

【図 8】

関連商品の購入者に対する組み合わせ情報の登録画面の構成例を示す図である。

【図 9】

データベースより生成されるマーケティング情報の例を示す図である。

【図 10】

生成されたマーケティング情報の内容の記述例を示す図である。

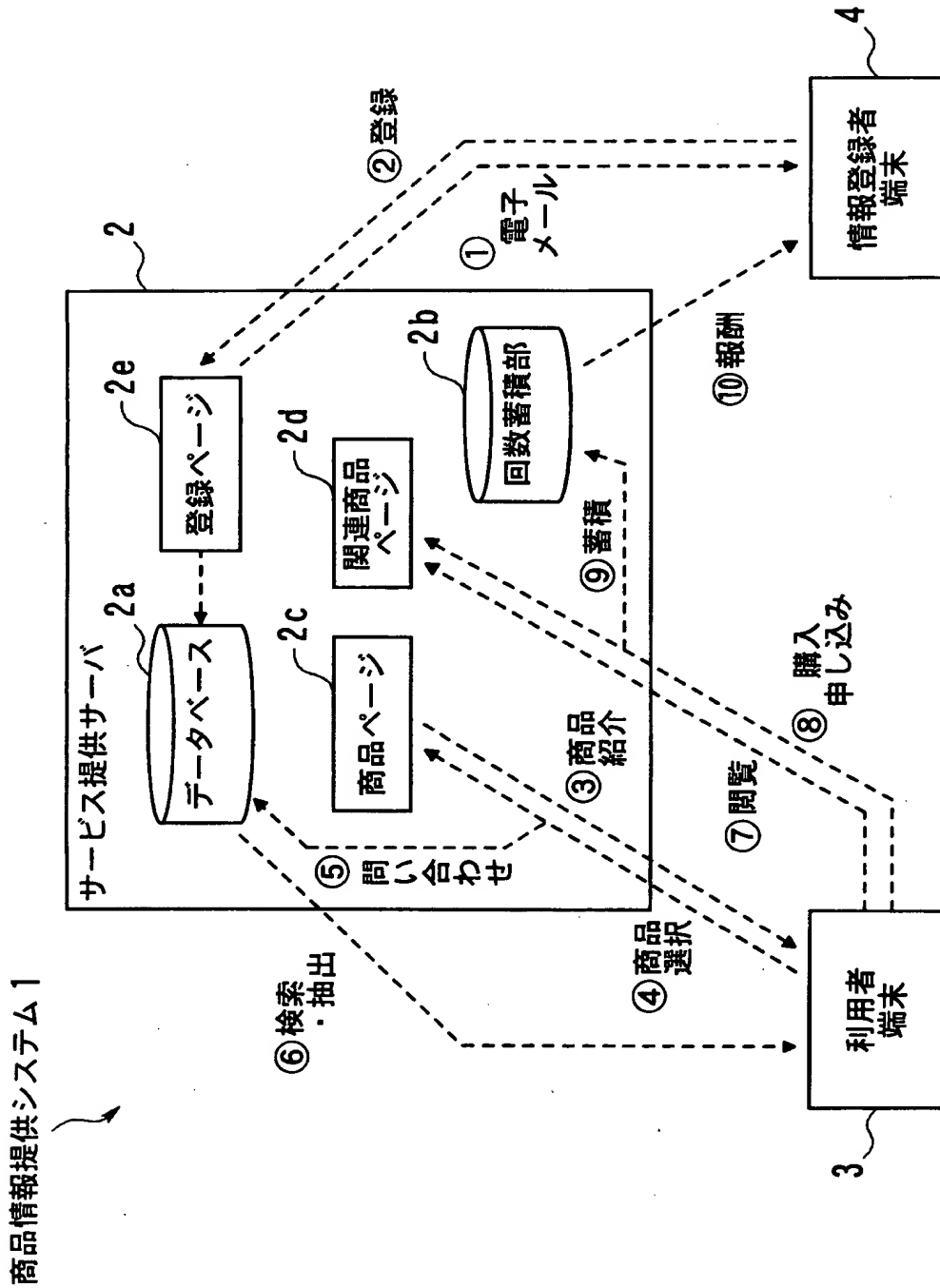
【符号の説明】

- 1 商品情報提供システム
- 2 サービス提供サーバ
 - 2 a データベース
 - 2 b 回数蓄積部
 - 2 c 商品ページ
 - 2 d 関連商品ページ
 - 2 e 登録ページ
- 3 利用者端末
- 4 情報登録者端末

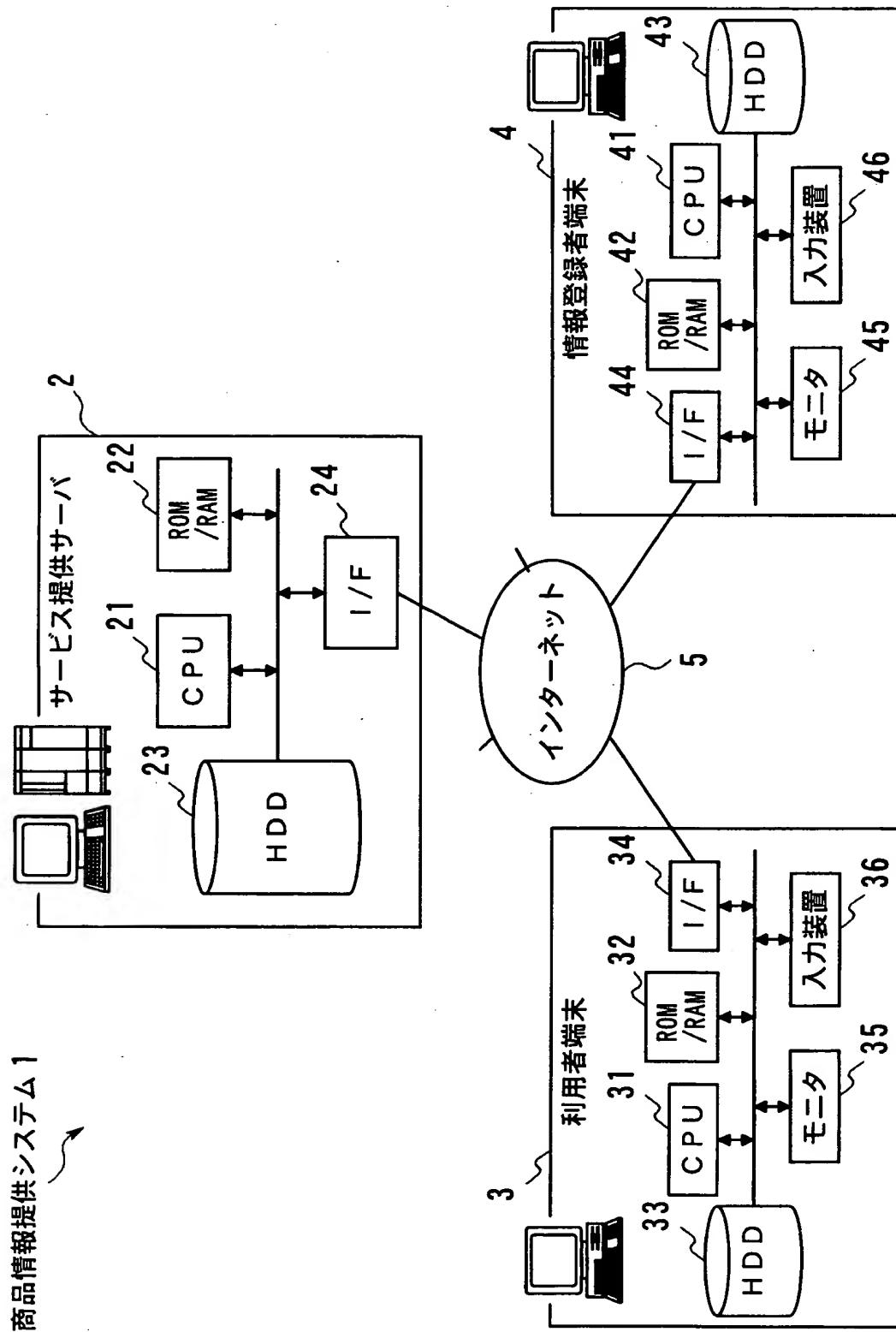
5 インターネット

【書類名】 図面

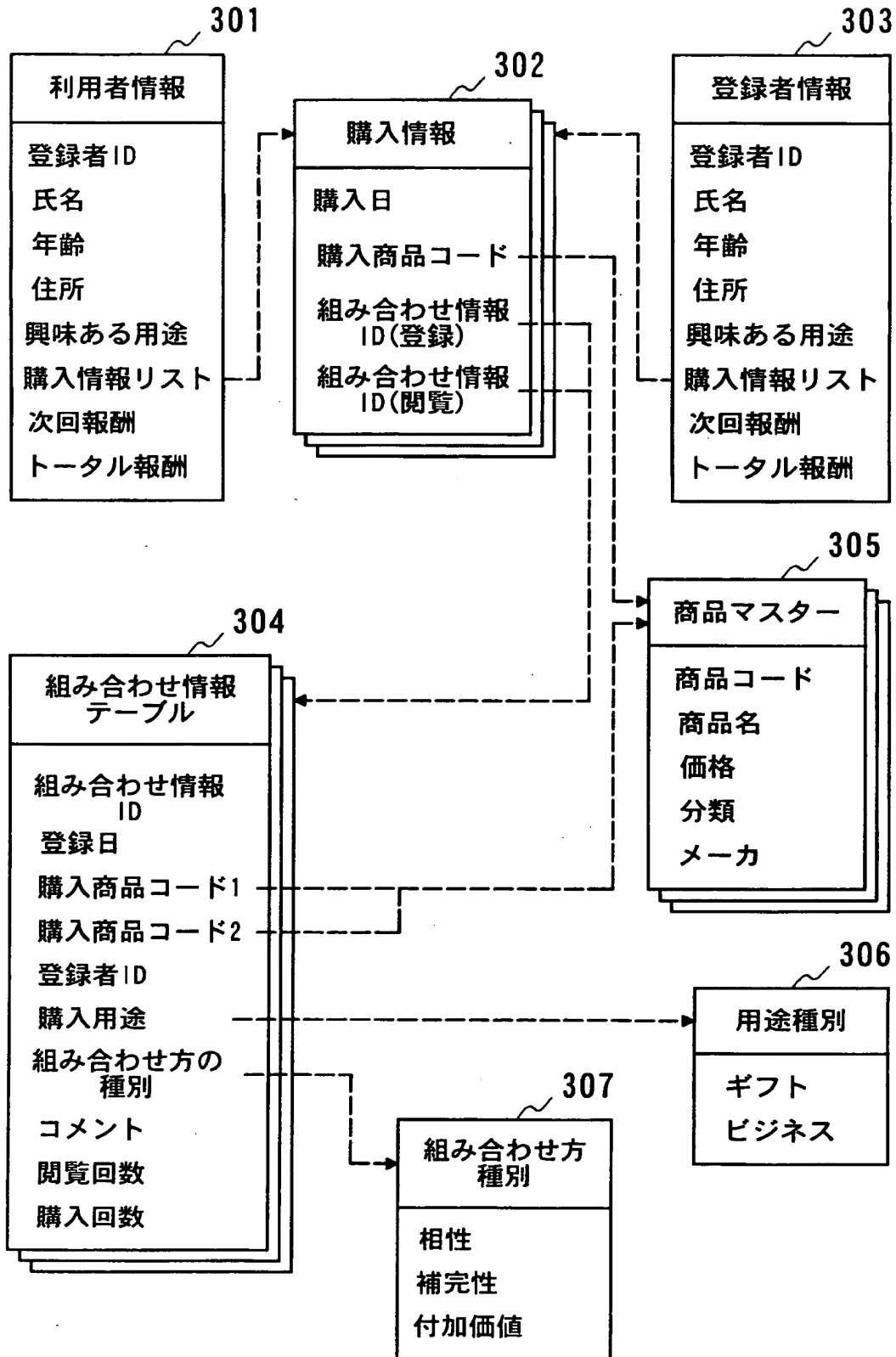
【図 1】



【図 2】



【図3】



【図 4】

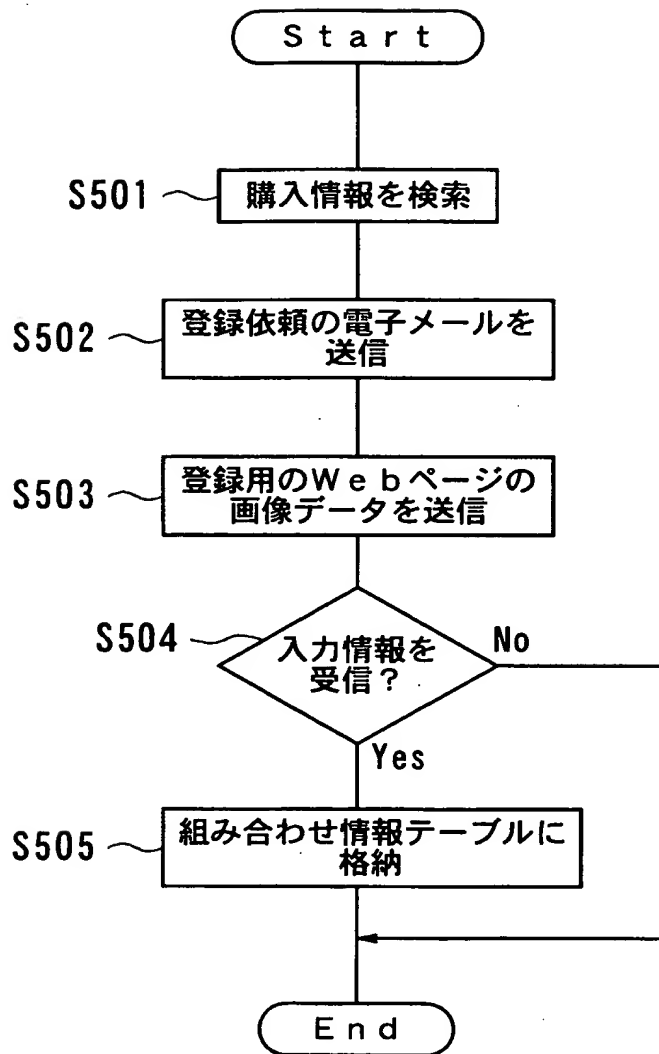
400

401

パーソナルコンピュータ「A」の御購入ありがとうございました。
もしも、同時に利用すると便利な商品がありましたら、
ぜひお知らせ下さい。
他のお客様が貴方の意見を見て購入された場合は、
商品割引券を差し上げます。

商品分類	商品名	販売ショップ
▼ 402	402a	▼ 404a
用途	組み合わせ方の種別	
▼ 405	▼ 406	▼ 407
405a	406a	
コメント（どんな点で便利か、役立ったか 等）		

【図 5】



【図 6】

600

あなたはパーソナルコンピュータ「A」の購入を検討されていますね。
次の商品を同時に購入されることを勧める方がいます。

* PC キヤリケース「B」→ その店舗に行く ～ 606

「大きさがちょうどいいよ」（相性がいい） ☆☆☆ [モバイル用途]

605 ～ お勧め情報の詳細へ 601 602 604 603

* ネットワークカード「C」→ その店舗に行く

「他の機種より連携がグッド」（相性がいい） ☆☆ [ネット用途]

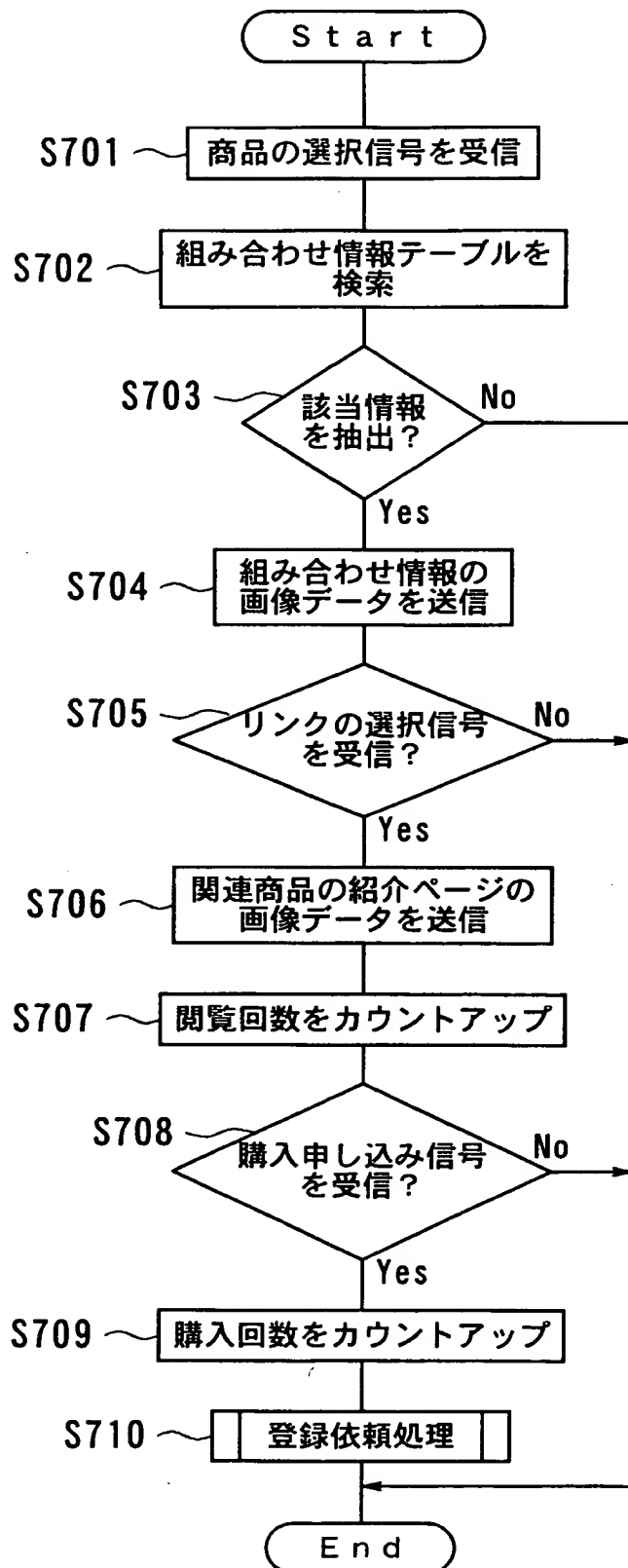
お勧め情報の詳細へ

* 仮想CD-ROM ソフト「D」→ その店舗に行く

「CD-ROM ドライブをはずす時、便利」（補完的） ☆ [モバイル用途]

お勧め情報の詳細へ

【図 7】



【図 8】

800

801

802

パーソナルコンピュータ「A」の御購入ありがとうございました。
お客様は、同時に次の商品も御購入されておられますが、
いっしょに利用すると便利とか相性がいいということをご存知でしたら、
ぜひお知らせ下さい。
他のお客様が貴方の意見を見て購入された場合は、
商品割引券を差し上げます。

○ 商品1
商品名
PCキャリーケース「B」 (バッグショップEにて御購入)

○ 商品2
商品名
仮想CD-ROMソフト「D」 (ソフトウェアショップFにて御購入)

用途

803

▼

803a

組み合わせ方の種別

▼

804

804a

805

コメント (どんな点で便利か、役立ったか 等)

【図 9】

901

ターゲット別マーケティング情報	
年齢別	推奨商品組み合わせ情報リスト
目的別	推奨商品組み合わせ情報リスト
嗜好別	推奨商品組み合わせ情報リスト
etc.	

902

購入者情報
購入商品履歴
未購入商品（推奨品）リスト
購入者属性
etc.

903

商品開発・改善情報
推奨組み合わせ情報未販売品
改善指摘項目リスト
販売チャネルリスト
etc.

【図 1 0】

マーケティングレポート

ノートPC と PC キャリケース の同時購入に関する情報を分析いたしました。
セット販売企画や商品企画にご利用下さい。

20 代の利用者と、ノートPC「E」の購入者は、組み合わせ方の種別で「色／デザインのマツチ」「デザインが強い」ことがわかりました。そのコメントの例として「色がぴったリ」「デザインがいい」といった意見があります。「色／デザインのマツチ」では、次のような組み合わせが好評でした。

- ・ ノートPC「A」とキャリケース「B」
- ・ ノートPC「E」とキャリケース「F」

50 代以上の利用者の意見では「軽い」「持ちやすい」といった意見が多くありました。次のような組み合わせが好評でした。

- ・ ノートPC「A」とキャリケース「B」

同時購入の比率

- ・ 10 代 3 %
- ・ 20 代 1 0 %
- ・ 30 代 8 %
- ・ 40 代 3 %
- ・ 50 代以上 2 %

【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 商品を購入する利用者に対して、組み合わせて購入し得る関連商品についての情報を的確に提示して、利用者の購買行動を補助する。

【解決手段】 サービス提供サーバ 2 において、利用者に提供される組み合わせ情報が、以前にこの商品を購入した情報登録者によって登録ページ 2 e 等を利用して登録され、データベース 2 a に蓄積される。登録された情報には、組み合わせる商品を特定する情報だけでなく、効果や使用方法等の組み合わせに関する情報が記述される。一方、蓄積された組み合わせ情報は、商品ページ 2 c を閲覧している利用者からの問い合わせ情報に基づいてデータベース 2 a が検索されて、対応する商品の組み合わせ情報が抽出され、利用者端末 3 に送信される。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [0 0 0 0 0 5 2 2 3]

1. 変更年月日 1 9 9 6 年 3 月 2 6 日

[変更理由] 住所変更

住 所 神奈川県川崎市中原区上小田中 4 丁目 1 番 1 号
氏 名 富士通株式会社